

ウッドロングエコを塗布した  
木の外壁を  
さらに長もちさせる施工法！



環境と共存し、長く快適に暮らすために  
建てる前に「設計で特に気をつける点」を軸に  
木の外壁をさらに生かす  
3つの施工ポイントをお伝えします。

point  
1

## 無垢材の伸縮性を考慮した施工

記録的な降水量が続いている近年、無垢材の伸縮性を考慮し  
スペーサーなどで「すき間」をいれてください。

### 1-1 庇を長く取る



雪が多い地域のため、東西南北  
すべて1200mmの庇を取った例。  
庇により雨や日差しの影響が少  
なく伸縮が軽減されます。

### 1-2 スペーサーで「すき間」を作る



スペーサーで、すき間  
を入れ伸縮を考慮し  
施工をしてください。  
すき間が狭いと写真  
のように浮くことが  
あります。



※スペーサー

### 1-3 専用部材or釘を使う



多雨地域で庇が短  
い外壁に、横継ぎ  
材をいれた事例。  
施工後約13年、経  
過良好です。



庇が短い場合は、  
外壁の反りを押さ  
える為に継ぎ目の  
箇所を釘で打つ等、  
ひと工夫が必要  
です。

継ぎ目の箇所が浮いた例

point  
2

## アクの汚れを設計で軽減

ウッドロングエコは一度活着すると雨により流れることはありませんが  
木のアクが流れ出ることがあります。



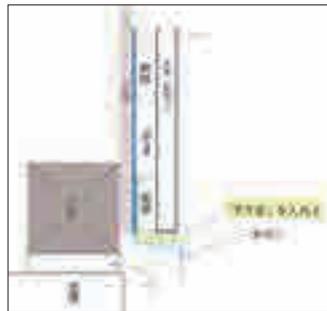
### 2-1 設計で特に気をつける点



左写真の逆パターン(1階  
が漆喰、2階が木)の場合  
無垢材のアクで漆喰壁を  
汚しますので異素材の配  
置にご注意ください。

1階が木の外壁 2階が漆喰壁  
異素材間に水切りを設置  
1階と2階の材質が逆の場合は  
木のアクで漆喰が汚れる

### 2-2 水切りでアクを軽減



外壁と基礎の間に水切りをいれて  
ください(ステンレス推奨)  
雪が多い地区では、雪解けの時期を  
考慮してください。

※コンクリートに付着した  
アク汚れの取り方は  
お問い合わせ下さい

point  
3

## 雨じまいを工夫する

多雨地域は特に窓回りなどの雨仕舞をよくすることで耐久性  
がアップします。

### 3-1 多雨地域の窓・ドアの雨仕舞い

右の写真は、シーリング材の経年劣化を想定し  
ハットジョイナーや窓縁に木枠を打ち、雨じまいを  
強化した事例(構造により雨仕舞の方法が異なる)

